



東輝祭 1 日目を終えて

1 学期を終えようとする頃、2 学期のスタートが分散登校になることなど、考えられないことでした。教室の様子を見に行くと、人数が少ないからという以上に、教室が広く見えました。感染症対策ということもありますが、生徒はいつもよりずっと無口で、さみしそうでした。でも、時が過ぎる中で、逢えない仲間を想い、少しずつ気がつき始めました。「時間は違うけれど、同じ場所で頑張っている仲間がいる。」黒板に書かれたメッセージや縄跳びを跳んだ回数はもちろん、机の上にある消しゴムの消しカスからも、仲間の姿を想像することができました。「私たちは、同じ目標に向かって前に進んでいる。」

いつもの東輝祭は、成功に向かってそれぞれが様々な部門で取り組み、1 日目の文化部門の発表で、仲間の頑張りを観て、聴いて、確認し、2 日目に行われる競技部門で、1 本の縄、綱、バトンを通して、同じ時間に同じ場所で、仲間と協力することの素晴らしさ、大切さを体感し、学んでいきます。そして、ふと、毎日の学校生活もそうであったことに気づき、未来もそうやって生きていくことを心に刻みます。

1 日目が競技部門、2 日目が文化部門となり、その間も 1 週間程度空いた今年度の東輝祭ですが、みんなで願ったスローガン『総思創愛 ～輝けみんなの“Love & Piece”～』は、まさしく今年度の東輝祭を成功に導くものでした。9 月 22 日(水)に行われた競技部門では、分散登校で、同じ時間でなくとも想いを育てた経験が、同じ時間、同じ場所だからこそその体感を、さらに大きな感動へと導いていました。うれしそうで、悔しそうで、楽しそうな生徒の表情を見ていると、東輝祭を実施して本当によかったと思いました。みんなで創り出すからこそ、互いを大切に想う心をさらに育てることができていて、2 日目の文化部門では各部門の発表を観ることが中心となったとしても、その発表者の『想い』を充分理解し、一人ひとりが東輝祭を自分のこととして捉えられるような気がしています。そして、本校はさらに『東中愛』あふれる学校となるはずです。

生徒会本部を中心とした生徒も、先生方も、誰もが 2 日間の東輝祭をあきらめませんでした。感染症対策を怠らず、みんなで東輝祭をやり遂げましょう。今年度の東輝祭が、新しい歴史を創ります。



行事を行う意味

東輝祭 1 日目競技部門を終えた翌日、この文を書いているのは、9 月 23 日(木)秋分の日です。昨日の放課後から、何人も先生方が校長室にやってきました。そして、生徒の頑張った様子を伝えてくれました。1 位になったうれしさや、あと 1 歩で逆転できなかった悔しさ、参加できないかもしれないと思っていた仲間と共に競技に取り組めた喜び、応援し合えた一体感、何よりそういった気持ちをみんなに共有できたこと、クラスで起こった涙あり感動ありのそんな話を笑顔でしてくれました。

きっとこういうことは、毎日の生活でもあることなのだと思います。でも、1 本のバトン、綱、縄、竹を使うとわかりやすく見えてきます。そして、そういったことに気がつく視点を身につけると、世界が今までとは違ったように見えてくるのです。

本日は休みの日なのにもかかわらず、新人戦も近いので、部活動に来ている生徒も目立ちます。疲れているかもしれない生徒たちですが、少しだけ大人っぽくなったような気がします。先生方も学校に来ていて、保坂先生は昨日のことを思い出し、学級通信を書いています。小林孝先生は生徒がこの後活動しやすいように、アーチの作成に取り組んでいます。他にも何人かの先生方が学校にいる光景は、本校ではよくある様子ですが、昨日までとは、また少し違うような気がします。

行事を終えると日常が変わります。日常が充実すると行事が変わります。感染症を乗り越え、保護者の皆さんともこういった気持ちを共有できればと願います。

2 学期始業式 生徒代表の決意

R3. 8. 27 (抜粋)

東輝祭の競技部門にはクラス競技があり、団結力が問われます。そこで、クラスで目標を決め、本番に向けて練習を行い、クラス全員で団結して取り組んでいきたいと思ひます。また、先輩方と一緒に練習をする中で、アドバイスをしていただきながら、良いところを学んで、先輩方に一歩でも追いつけるようになりたいと思ひます。様々な行事を通し、沢山の経験を積んでいく中で、一人一人が力を発揮し、実りある 2 学期を送っていきたく思ひます。

1 年 2 組 深澤亜美

1 学期最後に行った学年生徒総会での課題を、夏休み中ずっと考えていました。頑張りたいことの 1 つ目は、東輝祭での行動です。去年の初めての東輝祭では、分からないことばかりでした。しかし、今年は去年の経験を生かして、自ら考えて行動していきたく思ひます。特に、1 年生は知らないことが多いと思ひます。そのため、応援や競技の場面で引っ張っていきたく思ひます。そして、3 年生は最後の東輝祭になります。今年の東輝祭が最高のものになるよう、全力でサポートしていきたく思ひます。

2 年 2 組 市川知歩

2 学期は、1 学期に改善することができなかった課題をなくしていくため、当たり前のレベルが高い学年をつくらせていきたく思ひます。残された時間をどのように過ごすかを考え、自分の時間、クラスで過ごす時間を大切にしたい思ひます。東輝祭や修学旅行など、まだまだ望み通りに行うことは難しいかもしれませんが、それでも、その瞬間を全力で楽しめる学年でありたい思ひます。正々堂々と後輩に胸を張れる先輩になれるように、2 学期も頑張りたい思ひます。

3 年 2 組 新澤 詩